

幼虫、サナギから成虫「アゲハ」へ。カイコモマユ作り～3年生～

育てていたアゲハの幼虫がサナギになり、ついに「アゲハチョウ」になりました。3年生は理科で「こんちゅうの体のつくり」を学習しているところで羽化したアゲハをじっくり観察して、こんちゅうの体は頭・胸・腹に分かれていて、胸の部分から足が6本、羽根が4枚ついていること、頭には2本の触角と目、密を吸うストロー状になった口があること確認しました。本物から学ぶ貴重な経験をしました。観察の後は大空に向けて飛んでいくのを見送りました。



カイコモ大きく成長し、マユ作りを始めました。口から絹糸を出しながら八の字に糸を紡いでいきます。

理科室でもメダカやカマキリなどいろいろな生き物が新しい「いのち」の誕生ラッシュです。



国語の授業 自信をもって自分の意見を発表する ～4年生～

4年生は国語で説明文「ヤドカリとイソギンチャク」の学習を進めていました。本文を読み、書かれている内容を「小見出し」として要約するのにキーワードを見つけてそれをつないで表現していきます。まずは自分でキーワードを見つけ、グループになってキーワードを発表し合って、それらをホワイトボードに書きながら、つないでグループとしての「小見出し」を完成させます。お互いの意見を聞き合ってまとめて発表します。今は、この学びを説明文「海のいのちをつなぐ」の学習に活かして読み取りの更なるステップアップをしています。

